

9月に結婚した長女ことを、ときどき思い出します。とくに思春期のころは、問題の多い子でして。中学生のときは一時期、学校に行かなくなったことも。毎日、学校に行っていたはずなのに、先生から「お休みが続いていますすが…」なんて電話があったり。

妻が説教して、やがて二人で怒鳴り合いになる日々。ボクまでとばかりで怒られて、学校まで送り届ける役を命じられてしまいました。でも、ちゃんと昇降口まで見送っても、やっぱりどこかに行っちゃう。

「そんなにイヤなら、サボっちゃおうか。」妻には学校に行くの見せかけて、海に行っちゃった。青春ドラマ丸出しのクサイ脚本ですが、ボクもやりきれない気分です。とつぜん方向転換しちゃいました。

だれもいない湘南の砂浜で、ボクのとりに座って海を見ています。いろんなところに連れて行って、楽しい時間もたくさんあったはずなのに、そんな困った場面ばかり、くつきりとよみがえってくる。なんか、ワリに合わないよなあ。

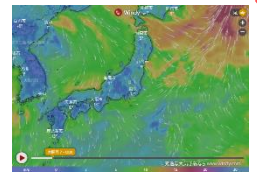
ゲームでプログラミング学習

10月3日の記事から。
スマホで遊みながら、
プログラミングが学べる。



リアルな天気図

10月11日の記事から。
風や気温の変化が、
アニメーションで見られる。



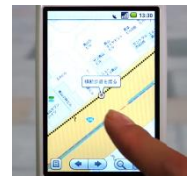
青空文庫のオーディオブック

10月23日・26日の記事から。
耳で読めるから、移動中もOK。
読み手は、プロやプロ級!



Google マップに親切な徒歩ナビ

10月18日の記事から。
方向音痴でもだいじょうぶ、
わかりやすく指示してくれる。



まちがい慣用句クイズ

文化庁「国語に関する世論調査」から、慣用句クイズを。

どこがおかしいか、わかるかな?

答えは、わかる人に聞いてみよう。だれも知らなかったら、ネットで調べてみよう。

- ①彼は、舌の先の乾かぬうちに、すぐに嘘を言う。
- ②教授たちを相手に、堂々と論戦を張る。
- ③今回は、会長みずからが、采配を振るう。
- ④気を抜いていると、足元をすくわれるよ。
- ⑤当社はまさに、存亡の危機に立たされている。
- ⑥彼は、誰にでも愛想をふりまいている。

メンテナンス担当たんちゃんメッセージ

スマートスピーカーで、部屋のスマートネットワーク化をしています。

2年前、最初のスマートスピーカー「グーグル・ホーム」を購入。声で天気やニュースをチェックできるのがおもしろくて、ハマってしまいました。次は、部屋の照明を声で操作。その次は、エアコンやテレビを声で操作。さらに、部屋のロールカ

ーテンを声で操作できるようにしました。

朝起きたら「オッケーを開けて」。日が暮れたら「オッケーグーグル、ブラインドを開けて」。おお、未来的だ。次は、玄関のカギをスマート化して、自動的に開けたり閉めたりしてみよう。家族の無理解をどうやって突破するかが、最大の難関だ。